

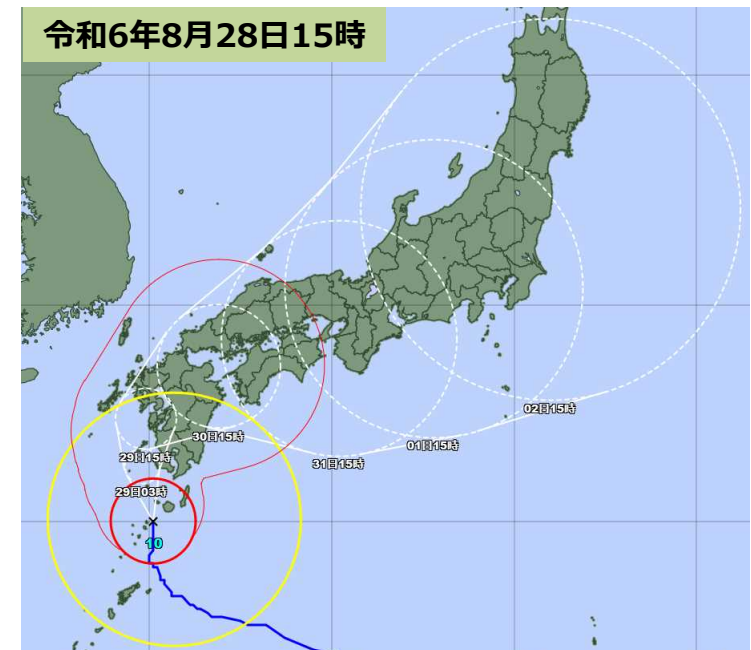
鹿児島県に高潮特別警報発表

28 日 16 時 20 分に鹿児島県に高潮特別警報を発表しました。さらに、記録的な大雨となり、九州南部に大雨特別警報を発表する可能性があります。暴風、高波、高潮、大雨に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

問合せ先：大気海洋部 業務課 深町、千々松、茂木
電話 03-3434-9055

鹿児島県に 高潮特別警報発表

- 非常に強い台風第10号は29日にかけて九州南部に接近し、その後九州に上陸するおそれ
- 経験したことのないような暴風、高波、高潮、記録的な大雨のおそれ
- 九州南部に大雨特別警報発表の可能性
- 暴風が吹くまでに避難完了を！



特別警報を発表した地域

8月28日16時20分時点

都道府県	暴風特別警報を発表した地域名
鹿児島県	鹿児島市,鹿屋市,枕崎市,阿久根市,出水市,指宿市,西之表市,垂水市,薩摩川内市,薩摩川内市甕島,日置市,曾於市,霧島市,いちき串木野市,南さつま市,志布志市,南九州市,伊佐市,姶良市,三島村,さつま町,長島町,湧水町,大崎町,東串良町,錦江町,南大隅町,肝付町,中種子町,南種子町,屋久島町

都道府県	波浪特別警報を発表した地域名
鹿児島県	鹿児島市,鹿屋市,枕崎市,阿久根市,出水市,指宿市,西之表市,垂水市,薩摩川内市,薩摩川内市甕島,日置市,霧島市,いちき串木野市,南さつま市,志布志市,南九州市,姶良市,三島村,長島町,大崎町,東串良町,錦江町,南大隅町,肝付町,中種子町,南種子町,屋久島町

都道府県	高潮特別警報を発表した地域名
鹿児島県	阿久根市,薩摩川内市,いちき串木野市,長島町

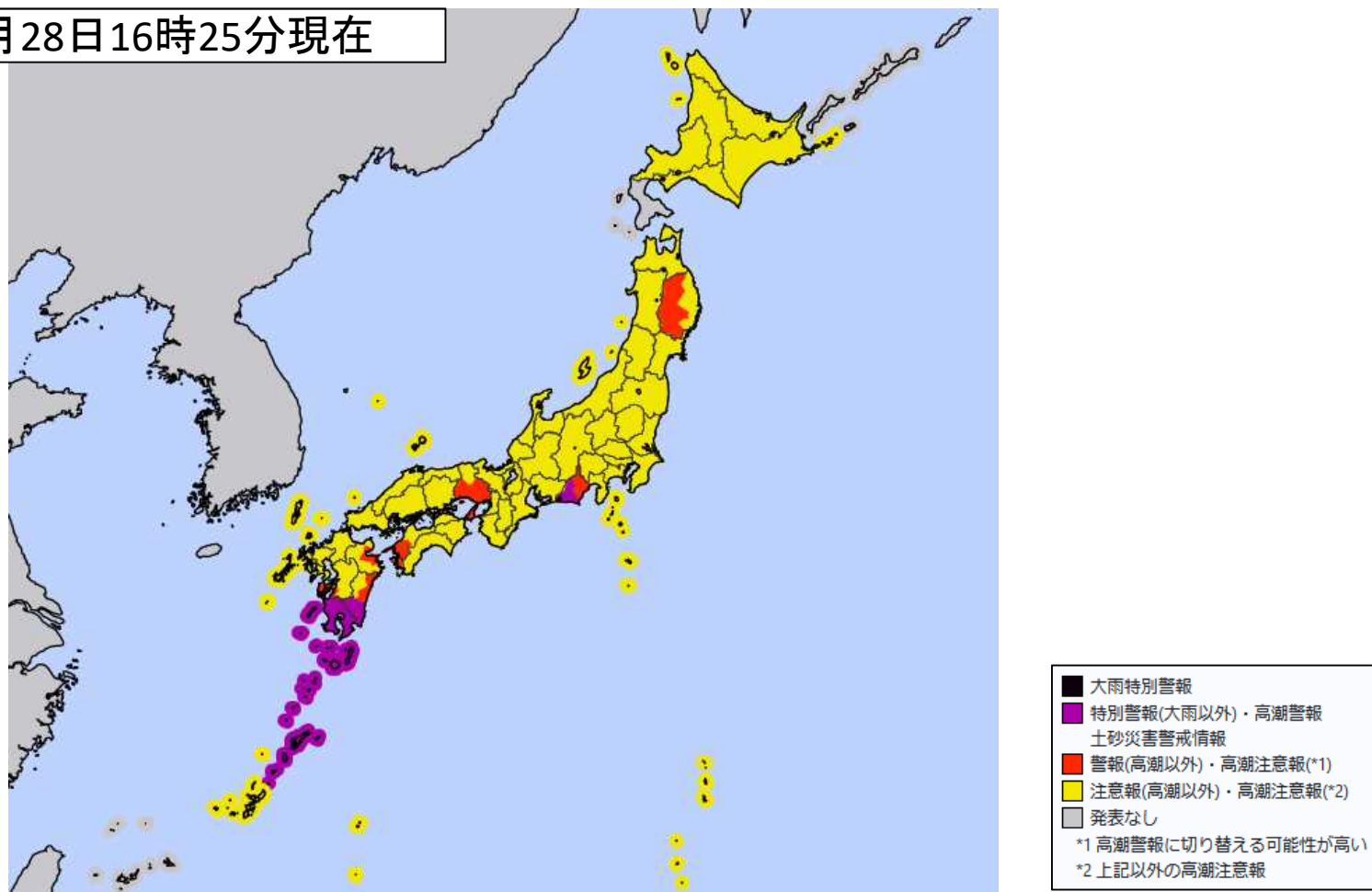
鹿児島県に高潮特別警報発表

- 鹿児島県に高潮特別警報を発表しました。これまでに経験したことのないような暴風、高波、高潮が予想され、最大級の警戒が必要です。
- 記録的な大雨となり、大雨特別警報を発表する可能性があります。河川の増水や氾濫、土砂災害、低地の浸水にも最大級の警戒が必要です。
- 非常に強い台風第10号は、29日にかけて九州南部に非常に強い勢力で接近する見込みです。その後、台風は九州に上陸するおそれがあります。
- 一部の住家が倒壊するような猛烈な風が吹く見込みのため、暴風が吹き始める前に頑丈な建物の中に移動するとともに、屋内では窓から離れてください。
- 高潮や洪水の浸水想定区域や土砂災害警戒区域などでは、暴風が吹き始める前に避難することが重要です。まだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。
- 鹿児島県以外の地域でも、記録的な大雨、暴風、高波、高潮となるおそれがあります。
- 自分の命、大切な人の命を守るため、地元市町村が発令する避難情報に従って早めに身の安全を確保してください。

※お住まいの場所が安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所や安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。すでに暴風が吹き始め移動が困難な場合は、少しでも崖や沢から離れた頑丈な建物の上の階へ移動するなど、身の安全を確保する必要があります。

特別警報・警報の発表状況

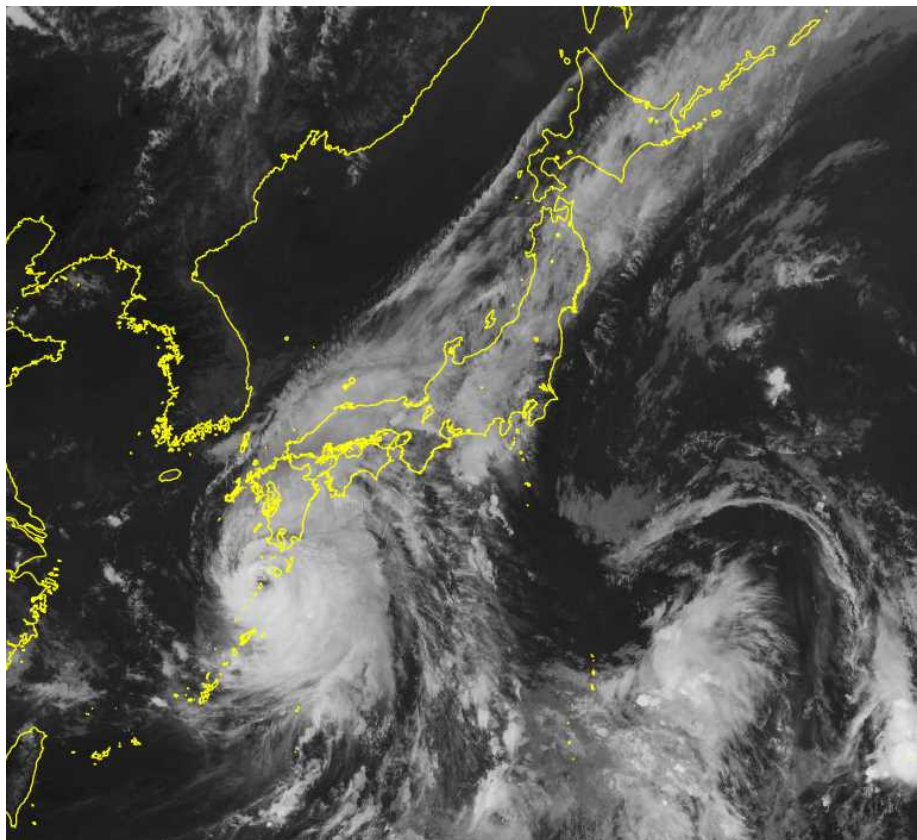
2024年8月28日16時25分現在



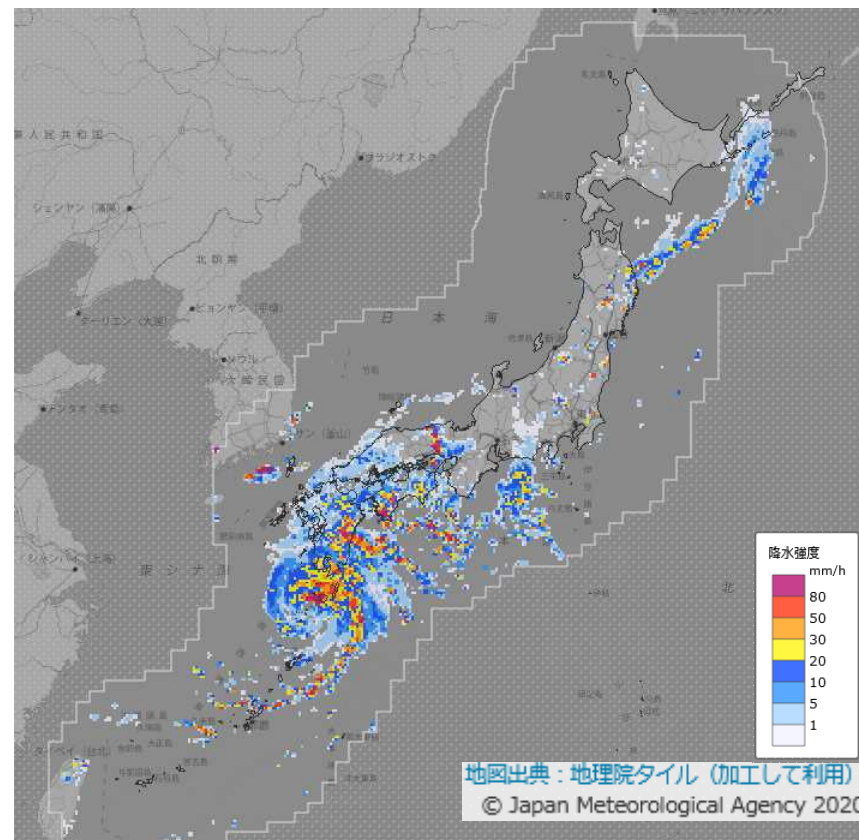
特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

衛星画像(赤外)・雨雲の動き

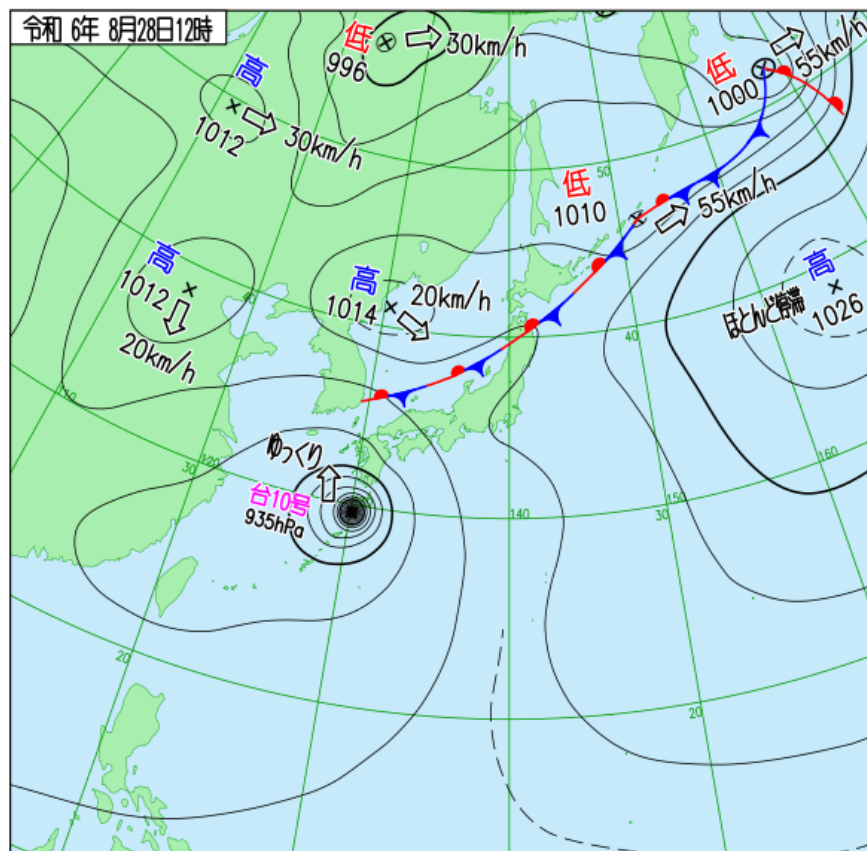


衛星画像(赤外)
(8月28日16時)

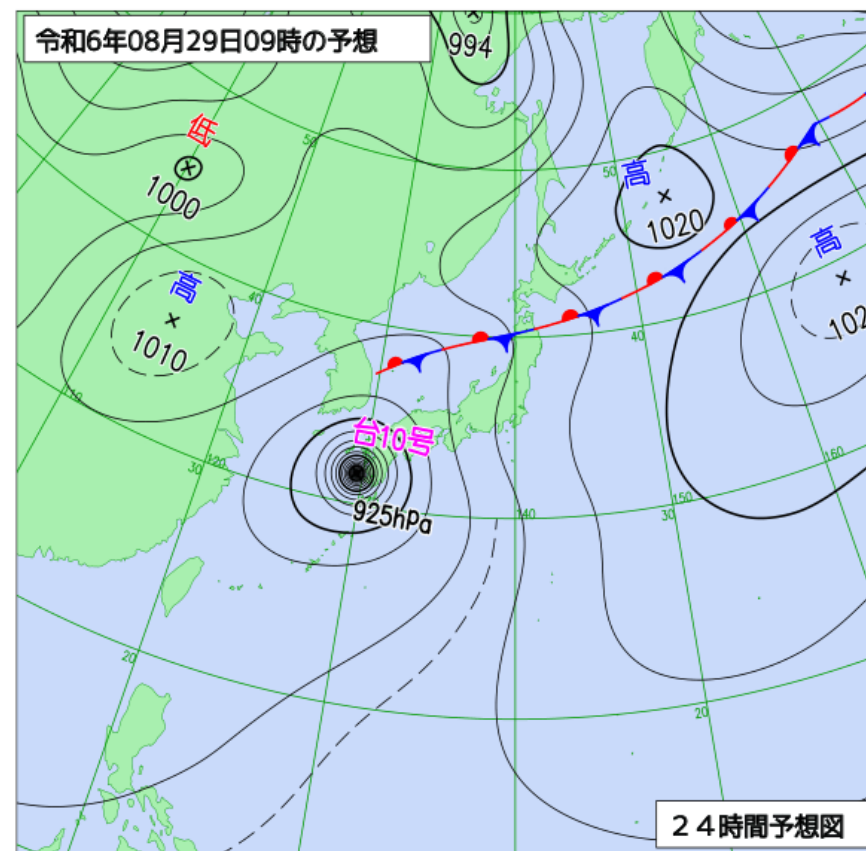


雨雲の動き
(8月28日16時)

天気図



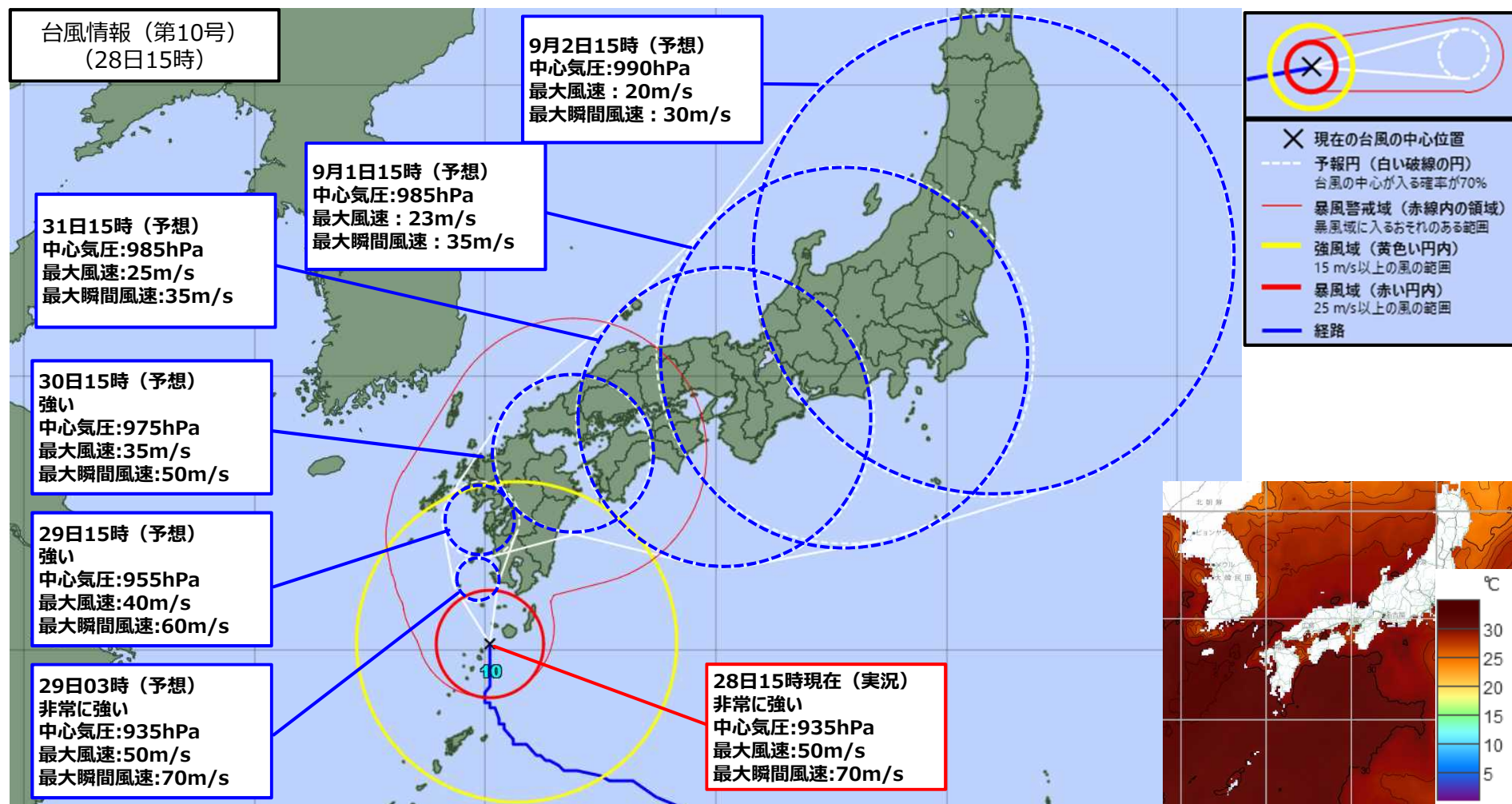
地上天気図
(8月28日12時)



予想天気図
(8月29日9時予想)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

台風の見通し



予報には誤差があり、台風が予報円の中心点やそれを結ぶ線の上を必ず通るとは限らないことに留意。

日別海面水温 8月27日

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>)

暴風・波浪の警報級となる可能性のある期間

日		28日	29日	30日	31日	9月1日
時		～6	6～24			
北陸地方	暴風				■	
東海地方	暴風			■	■	■
近畿地方	暴風			■	■	■
中国地方	暴風		■	■	■	
四国地方	暴風		■	■	■	
九州北部地方	暴風	■	■	■	■	
九州南部	暴風	■	■	■	■	
奄美地方	暴風	■	■			

日		28日	29日	30日	31日	9月1日	9月2日
時		～6	6～24				
関東甲信地方	波浪			■	■	■	■
東海地方	波浪			■	■	■	
近畿地方	波浪		■	■	■	■	
中国地方	波浪		■	■	■		
四国地方	波浪	■	■	■	■	■	
九州北部地方	波浪	■	■	■	■		
九州南部	波浪	■	■	■	■		
奄美地方	波浪	■	■				

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の暴風・高波の予想

地域	28日		29日		30日	
	最大風速 (最大瞬間風速)	波の 高さ	最大風速 (最大瞬間風速)	波の 高さ	最大風速 (最大瞬間風速)	波の 高さ
関東甲信地方	10 (20)	2.5	13 (25)	4	13 (25)	4
北陸地方	10未満	2未満	10 (20)	2未満	15 (25)	2
東海地方	10 (20)	3	12 (25)	4	22 (35)	6
近畿地方	12 (25)	4	15 (25)	6	25 (35)	7
中国地方	12 (25)	2未満	18 (30)	3	25 (35)	4
四国地方	18 (30)	5	25 (35)	7	30 (45)	7
九州北部地方	20 (30)	5	40 (60)	7	40 (60)	7
九州南部	50 (70)	11	50 (70)	10	35 (50)	6
奄美地方	50 (70)	11	40 (60)	9	15 (25)	5

単位(風):メートル毎秒、(波):メートル

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

大雨の警報級となる可能性のある期間

日		28日	29日	30日	31日	9月 1日	9月 2日
時		～6	6～24				
東北地方	大雨						
関東甲信地方	大雨						
北陸地方	大雨						
東海地方	大雨						
近畿地方	大雨						
中国地方	大雨						
四国地方	大雨						
九州北部地方	大雨						
九州南部	大雨						
奄美地方	大雨						
沖縄地方	大雨						

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の雨の予想

地域	29日18時までの 24時間雨量	30日18時までの 24時間雨量	31日18時までの 24時間雨量
東北地方	80	80	80
関東甲信地方	80	150	200
北陸地方	60	60	120
東海地方	300	300	300
近畿地方	150	200	300
中国地方	80	150	200
四国地方	300	400	300
九州北部地方	400	400	120
九州南部	600	400	50
奄美地方	150	50	50未満

単位:ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

高潮の警報級となる可能性のある期間

【高潮】

日		28日	29日	30日	31日	9月1日
時		～6	6～24			
北陸地方	高潮					
近畿地方	高潮					
中国地方	高潮					
四国地方	高潮					
九州北部地方	高潮					
九州南部	高潮					
奄美地方	高潮					

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



気象警報・注意報



キキクル（危険度分布）



指定河川洪水予報



気象情報



雨雲の動き



気象衛星ひまわり



気象庁
防災情報

[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁
YouTube

気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやX（旧Twitter）をご覧ください。



土砂災害警戒情報



台風情報



天気図



降り始めからの総雨量

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/flow.pdf

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

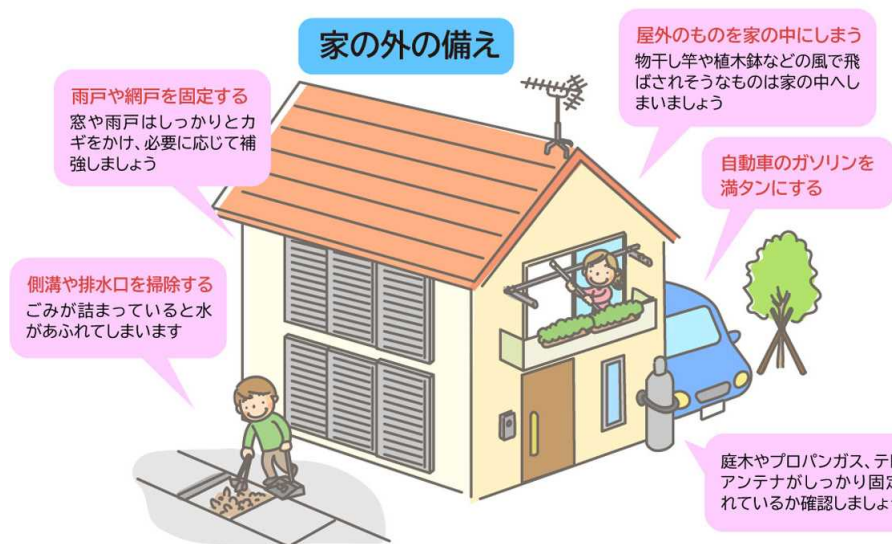
(参考)暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象	
発表中の 警報・注意報等の種別		〇〇日							〇〇日				
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6			
風風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10		
	海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10	以後も注意報級		

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の 様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。		外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。 (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

(参考)近年の主な暴風による災害

平成30年台風第21号

- 大阪府田尻町関空島（関西空港）では最大風速46.5メートル、最大瞬間風速58.1メートルを観測。
↓
- 死者14人、負傷者980人、住家全壊68棟、半壊833棟、一部損壊97,009棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年8月20日現在）
- タンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生。
※荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会 報告書（平成31年3月）
- 近畿地方を中心に最大停電戸数約224.7万軒の大規模停電が発生した。
※台風21号による停電について（第56報）関西電力（平成30年9月10日）

令和元年房総半島台風

- 千葉県千葉市では最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルを観測。
↓
- 千葉県を中心に、住家全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年12月23日現在）
- 鉄塔2基の倒壊、1,996本の電柱が倒壊・損傷により、千葉県を中心に最大停電戸数約93.5万軒の大規模停電が発生した。
※令和元年台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループ＜中間報告書＞（令和2年1月21日）



平成30年台風第21号
（海上保安レポート2019より）



令和元年房総半島台風
（気象庁職員撮影） 15

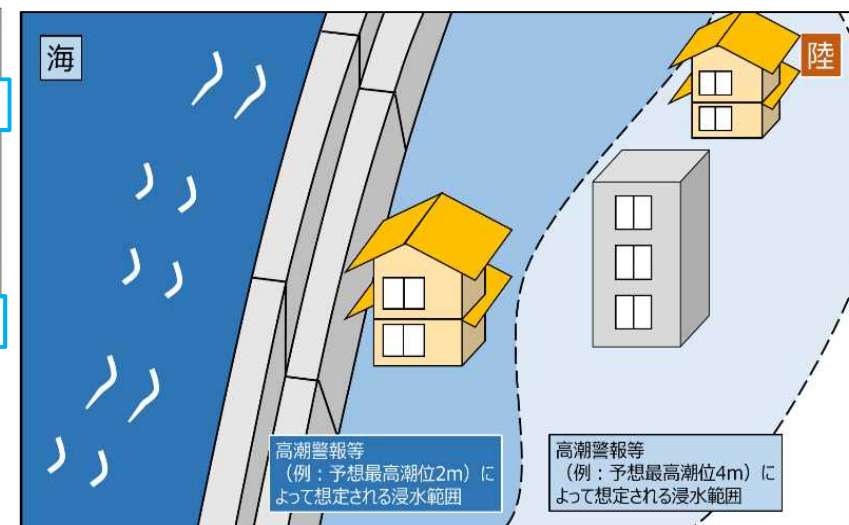
(参考)高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認



高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



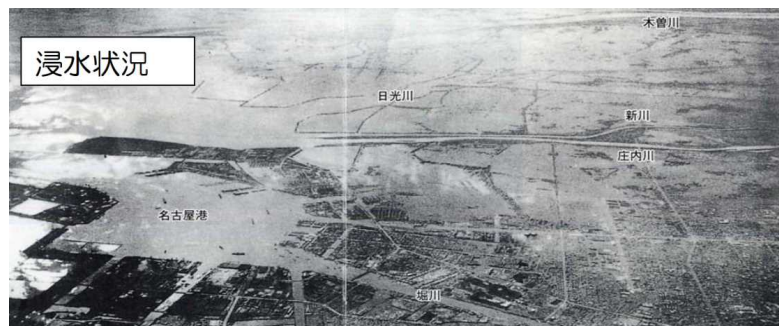
(参考)過去の主な高潮による災害

伊勢湾台風 (昭和34年)

- 伊良湖(愛知県渥美町)では最大風速45.4メートル、最大瞬間風速55.3メートルを観測。名古屋港では潮位389cmを観測。
- 死者4,697名、行方不明者401名、負傷者38,921名、住家全壊40,838棟、半壊113,052棟、床上浸水157,858棟、床下浸水205,753棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、特に愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水、三重県では桑名市などで同様に高潮の被害を受けた。

平成11年 (1999年) 台風第18号

- 牛深(熊本県牛深市)では最大風速27.7メートル、最大瞬間風速66.2メートルを観測。大浦(佐賀県)では潮位301cmを観測。
- 死者31名、負傷者1,218名、住家全壊338棟、半壊3,629棟、床上浸水4,895棟、床下浸水14,755棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過時に著しい高潮となり、熊本県不知火町では高潮により12名が死亡した。



伊勢湾台風

(出典：国土交通省木曽川下流工事事務所『自然と人のかかわり－伊勢湾台風から40年－』)



平成11年 (1999年) 台風第18号

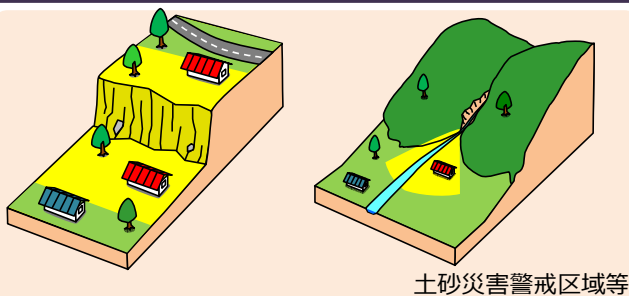
(出典：建設省九州地方建設局)

(参考)大雨による災害への備え

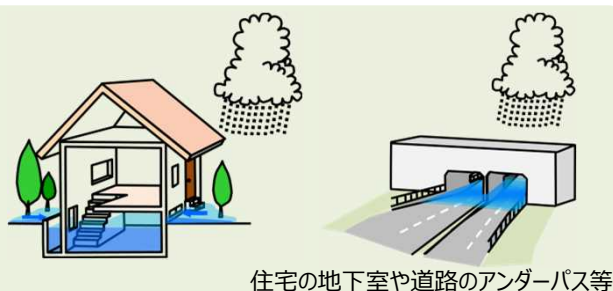
- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「キキクル（危険度分布）」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

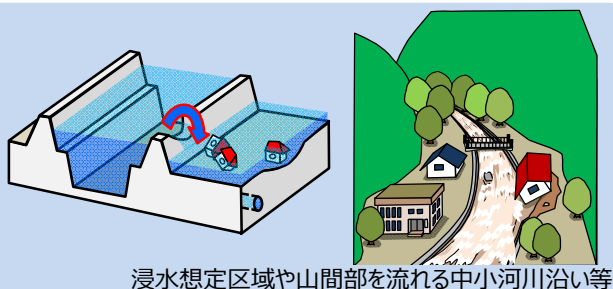
土砂災害



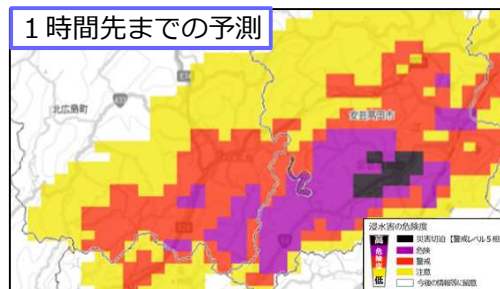
浸水害



洪水災害



キキクル（危険度分布）



災害の例



(参考)大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

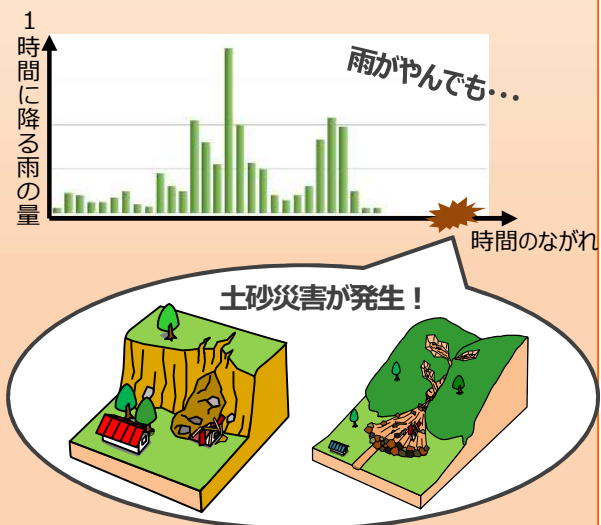


(参考)大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

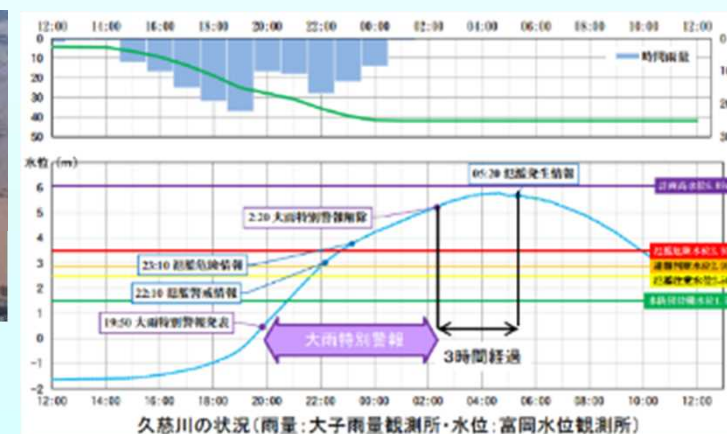
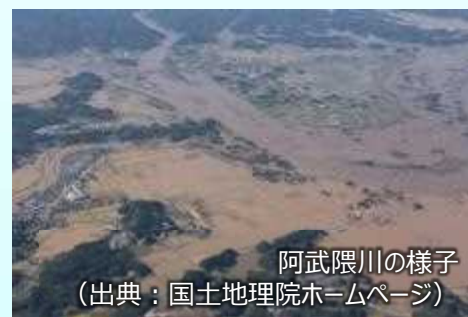
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越刃川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

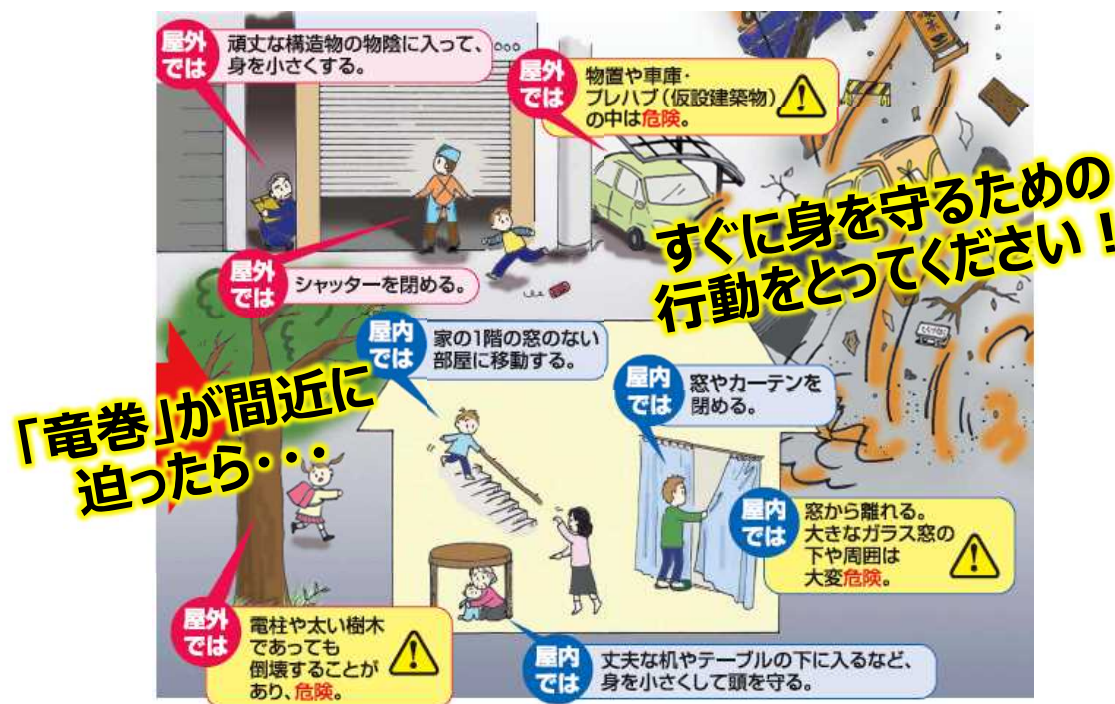
自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



(参考)突風や雷による災害への備え

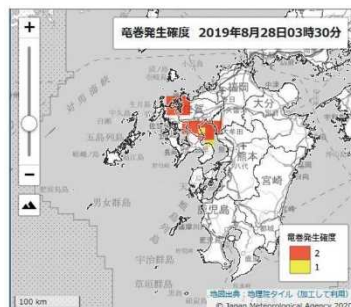
- 台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風や落雷に注意が必要。
- 竜巻発生確度ナウキャストや雷ナウキャストなどの防災気象情報を活用し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には身を守るための行動を。



日本版改良藤田スケールにおける階級と風速の関係
～竜巻等の激しい突風によって起こり得る被害～

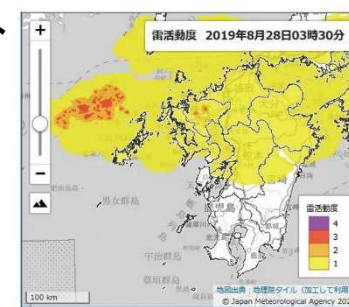
階級	風速 (3秒平均)	主な被害の状況(参考)
JEF0	25～38m/s	- 物置が横転する。 - 自動販売機が横転する。 - 樹木の枝が折れる。
JEF1	39～52m/s	- 木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離れたりする。 - 軽自動車や普通自動車横転する。 - 針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53～66m/s	- 木造の住宅の小屋組(屋根の骨組み)が破損したり飛散したりする。 - ワンボックスの普通自動車や大型自動車横転する。 - 鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 - 墓石が転倒する。 - 広葉樹の幹が折損する。
JEF3	67～80m/s	- 木造の住宅が倒壊する。 - アスファルトがはく離れたり飛散したりする。
JEF4	81～94m/s	工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離れたり脱落したりする。
JEF5	95m/s～	低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊したりする。

竜巻発生確度ナウキャスト



<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/#elements:trns>

雷ナウキャスト



<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/#elements:thns>

(参考)5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象庁等の情報 キキクル			市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
大雨 特別警報	大雨特別警報	高潮特別警報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
土砂災害警戒情報	危険	危険	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
※大雨警報 洪水警報	警戒	警戒	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	注意	注意	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨注意報 洪水注意報			第1次防災体制 (連絡要員を配置)		
早期注意情報 (警報級の可能性)			・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

国土交通省ウェブサイト（川の防災情報）

川の防災情報 “気象” × “水害・土砂災害” 情報マルチモニタ等で情報を把握する

気象情報、水害・土砂災害情報および災害発生情報等をパソコンやスマートフォンで一覧閲覧が可能。

地域選択が可能

- ・全国
- ・北海道
- ・東北
- ・関東
- ・北陸
- ・中部
- ・近畿
- ・中国
- ・四国
- ・九州
- ・沖縄



リアルタイムのレーダ雨量の状況



気象警報・注意報の発表状況



リアルタイムの川の画像



リアルタイムの川の水位



浸水の危険性が高まっている河川



洪水予報の発表地域

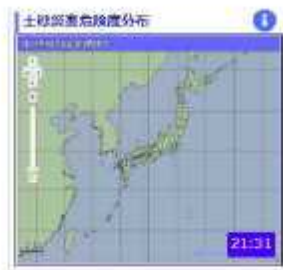


放流しているダムの状況



洪水警報の危険度分布状況

二次元コード



土砂災害の危険度分布状況

パソコン、スマートフォン：
<https://www.river.go.jp/portal/>

ハザードマップで災害リスクを確認！！

1 「ハザードマップ」で検索

2 ハザードマップポータルサイトで

身のまわりの災害リスクを調べる

重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べます

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す

現在地から探す

新機能（災害リスク情報のテキスト）

地図から探す

地図を見る

災害の種類から選ぶ

洪水

土砂災害

高潮

津波

地域のハザードマップを閲覧する

わがまちハザードマップ

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップ

住所入力

または

現在地検索

都道府県

市区町村

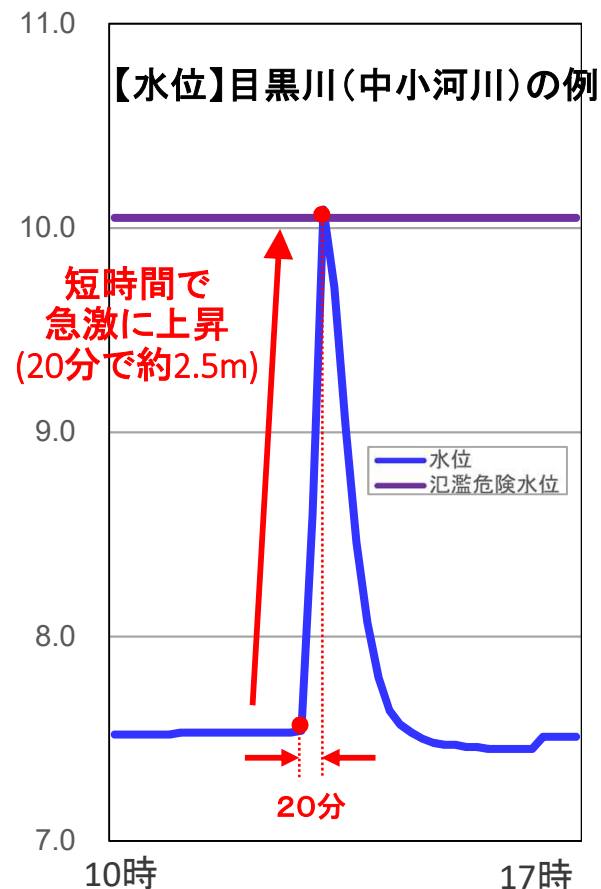
ハザードマップの種類

この内容で閲覧

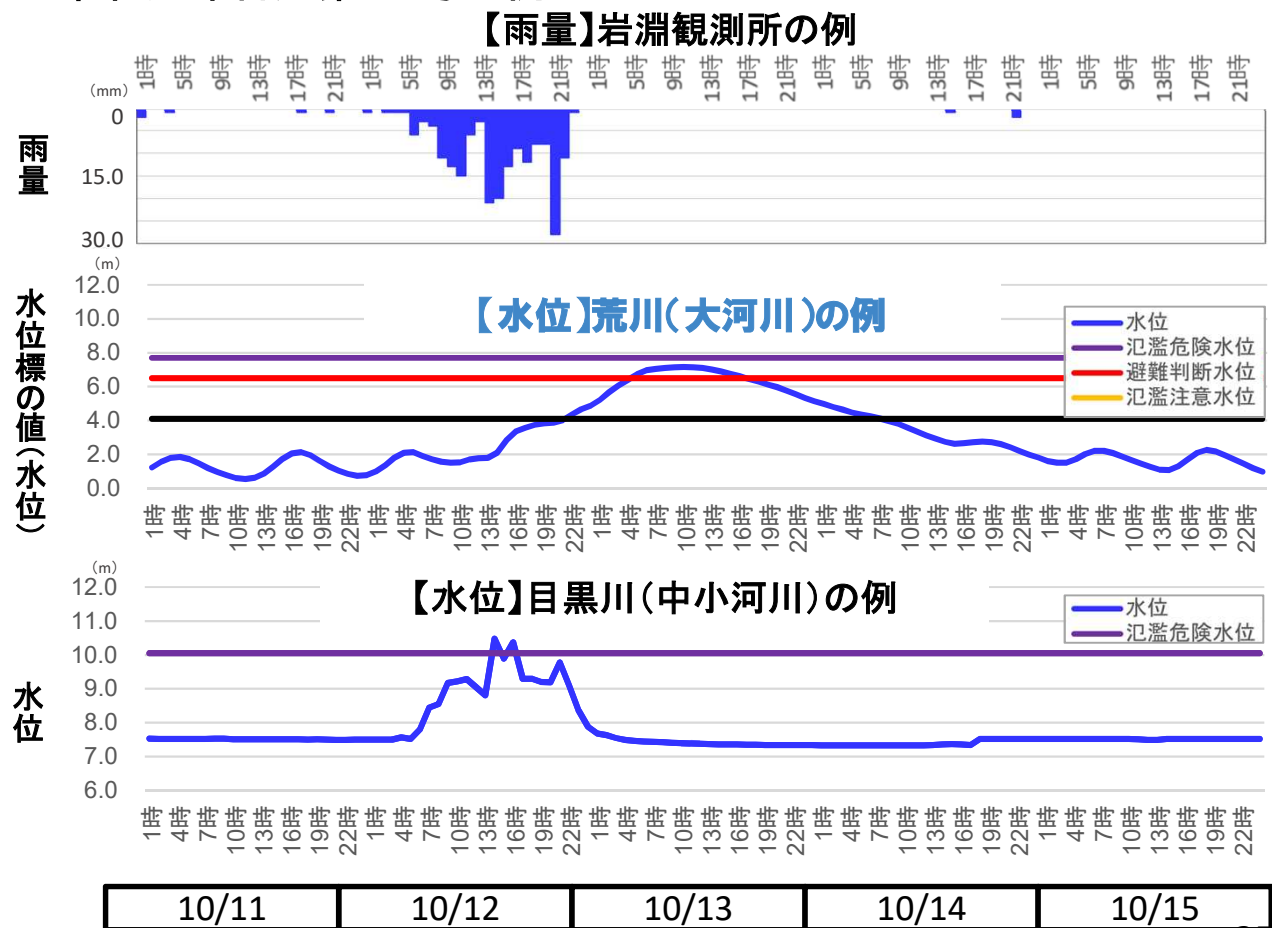
河川特性に応じた避難行動を！

- 中小河川**では大雨が降ると、短時間で**急激に水位が上昇**するため、水位の上昇を待つことなく**早めの避難行動**をお願いします。
- 大河川**では水位上昇は緩やかですが、**広範囲で大規模な浸水被害**等が発生する恐れがあるため、水位情報を確認のうえ、**早めの避難行動**をお願いします。
また、**雨が降り止んでからも水位上昇**が続くため、**すぐに河川へ近づかない**ようお願いします。

■令和5年8月1日の例



■令和元年台風第19号の例



大雨や台風時には、道路の通行止めや道路の冠水などにご注意ください

- 大雨や強風、高波により**災害発生**の恐れがある場合は、**通行止め**になる可能性があります。
- アンダーパス構造の箇所や低い土地の箇所では、**道路が冠水し、通行できない可能性**があります。
- 最新の気象情報及び道路情報等に注意し、**十分な時間的余裕を持って行動**いただくようお願いします。

【高速道路会社】

- ◇東日本高速道路株式会社 <https://www.e-nexco.co.jp/>
- ◇中日本高速道路株式会社 <https://www.c-nexco.co.jp/>
- ◇西日本高速道路株式会社 <https://www.w-nexco.co.jp/>
- ◇首都高速道路株式会社 <https://www.shutoko.jp/>
- ◇阪神高速道路株式会社 <https://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/>
- ◇本州四国連絡高速道路株式会社 https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/

【国土交通省 地方整備局】

- ◇北海道開発局 <https://www.hkd.mlit.go.jp/>
- ◇東北地方整備局 <https://www.thr.mlit.go.jp/>
- ◇関東地方整備局 <https://www.ktr.mlit.go.jp/>
- ◇北陸地方整備局 <https://www.hrr.mlit.go.jp/>
- ◇中部地方整備局 <https://www.cbr.mlit.go.jp/>
- ◇近畿地方整備局 <https://www.kkr.mlit.go.jp/>
- ◇中国地方整備局 <https://www.cgr.mlit.go.jp/>
- ◇四国地方整備局 <https://www.skr.mlit.go.jp/>
- ◇九州地方整備局 <https://www.qsr.mlit.go.jp/>
- ◇沖縄総合事務局 <https://www.ogb.go.jp/kaiken>

【その他の道路情報サイト】

- ◇日本道路交通情報センター <https://www.jartic.or.jp/>

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

(参考) 事前通行規制区間

大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所については、過去の記録などを元にそれぞれ規制の基準等を定め、災害が発生する前に「通行止」などの規制を行います。規制基準が定められている区間は以下のホームページで確認できます。

道路情報提供システム

<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/>

通行規制区間No. 19
区間
開始地点
終了地点
延長
通行止実施条件
現在の状況
継続雨量
時間雨量
備考
危険内容

台風に伴う道路の被災事例

倒木



越波・高波



冠水



電柱倒壊



土砂流入



落橋

